中長期的に目指すべき教員の年代構成・女性教員比率・職位比率について

令和 6 年 6 月 27 日　教育研究評議会決定
令和 7 年 9 月 25 日　教育研究評議会更新
令和 8 年 9 月 17 日　教育研究評議会更新

国立大学法人宮崎大学（以下本学）は、国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン（追補版）（令和 3 年 12 月 21 日）及び科学技術・イノベーション基本計画（令和 3 年 3 月 26 日閣議決定）等を踏まえ、国立大学法人宮崎大学の人事基本方針（令和 3 年 9 月 29 日学長裁定）および教員人事方針（令和 5 年 9 月 28 日制定）を制定している。

本学は、令和 4 年 10 月に人事委員会を設置し、学長のリーダーシップのもと、人事担当理事が大学全体の人事を一括管理する体制を整え、各年代の年代構成、若手や女性等を含む多様な人材の確保、及び若手研究者の育成と活性化の観点に留意しつつ人事を進めている。また、人事委員会での議論を踏まえ、中長期的に目指すべき教員の年代構成・女性教員比率・職位比率等を以下のとおり定める。

☆本学が目指す年代構成及び女性教員比率等

令和 5 年 5 月 1 日現在での 40 歳未満の若手教員比率が 17.3%であったことから、第 4 期から第 5 期中期目標期間中は、17%以上の高水準を維持することを目標として 20%台も視野に、新規採用者のうち 40 歳未満の若手を 80%とすることを目安する。 また、女性教員比率については、令和 5 年 5 月 1 日現在で 19.0%であったことから、国立大学協会が推進している「国立大学における男女共同参画推進について ―アクションプラン（2021 年度～2025 年度）―」を踏まえ、第 4 期中期目標期間中に 20%台を達成し、第 5 期中期目標期間中にさらに高水準にすることを目指して、新規採用者に占める女性教員の割合を 30%以上となることを目標とする。

☆本学が目指す職位比率

令和 6 年 5 月 1 日現在での本学の職位比率を踏まえ、各職位の年代構成にも留意しつつ、教授：准教授：講師以下を以下のように設定する。

職位	教授	准教授	講師以下
目指す比率	1	1	1 （病院助教を除く）
本学の状況 （特別教員等を含む）	34.5% （34.2%）	32.6% （30.5%）	32.8% （35.3%）

職位比率の推移

本学の状況（括弧内は特別教員を含む）

基準日	教授	准教授	講師以下
令和６年５月１日現在	34.5% （34.2%）	32.7% （30.5%）	32.8% （35.3%）
令和７年５月１日現在	35.7% （35.0%）	31.8% （30.2%）	32.5% （34.8%）
令和８年５月１日現在	34.9% （35.2%）	32.5% （30.4%）	32.6% （34.4%）

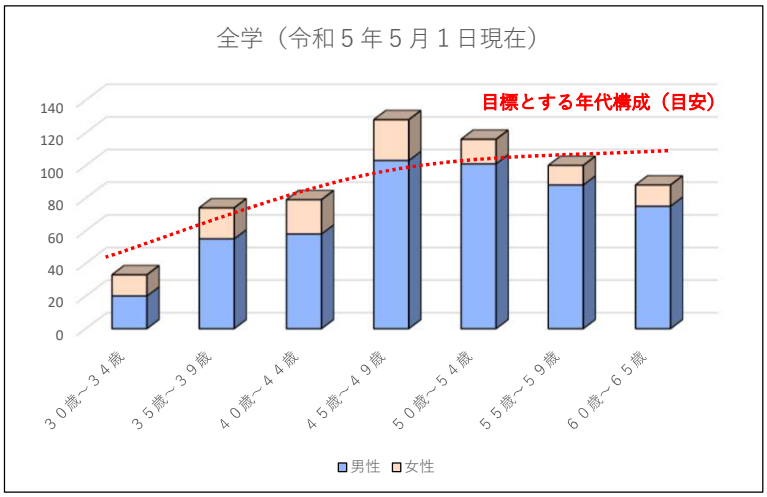
※講師以下は病院助教を除く。

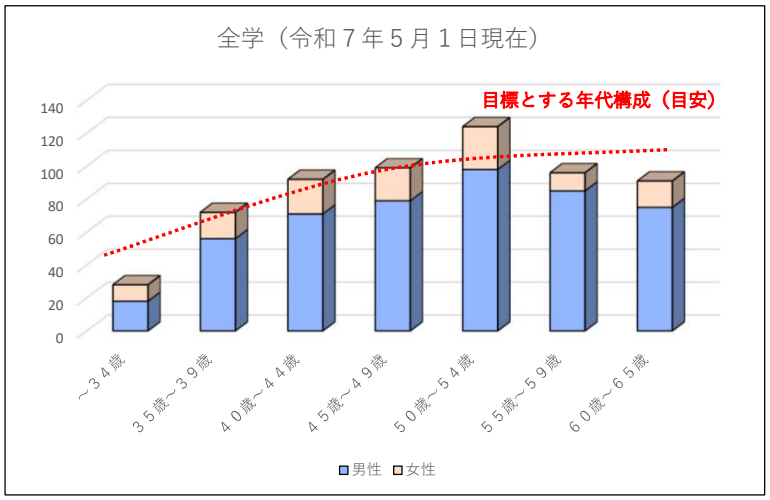
令和5年6月19日経営協議会承認
令和7年9月25日教育研究評議会更新
令和8年9月17日教育研究評議会更新

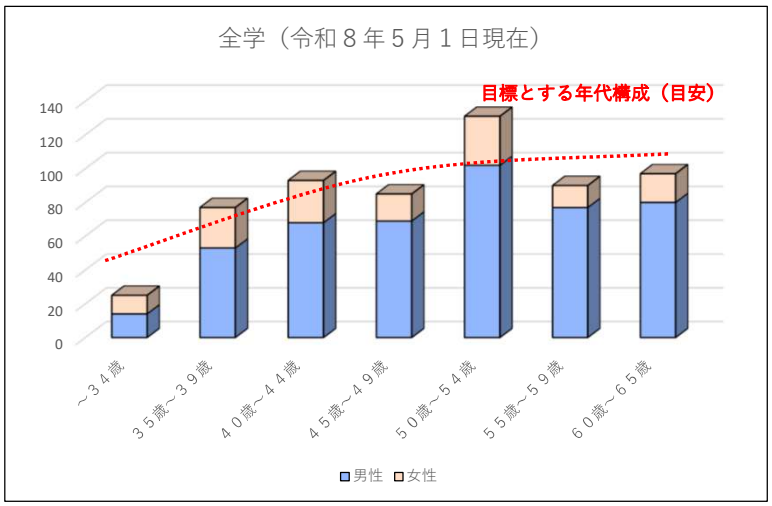
宮崎大学における目標とする教員の年代構成について

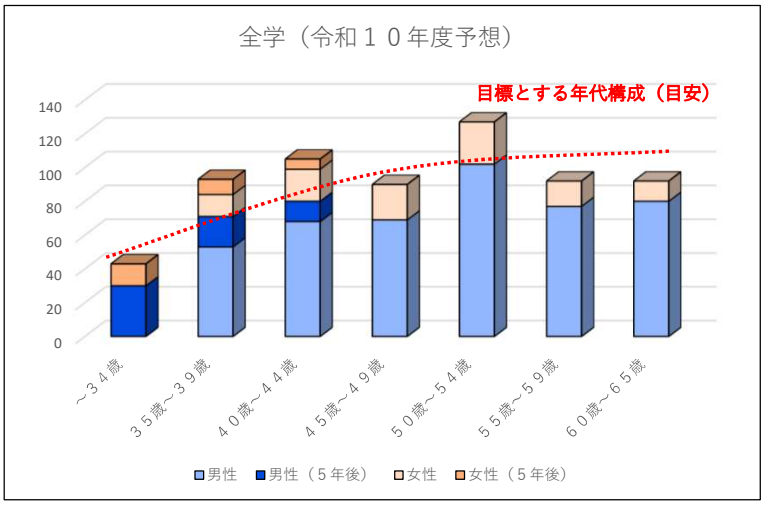
宮崎大学は、2022年10月、新たに設置した人事委員会において、学長のリーダーシップのもと、人事担当理事が大学全体の人事を一括管理する体制を整え、総合大学として各年代の構成員（教員）数に偏りがないことや、若手や女性等を含む多様な人材の確保、及び若手研究者の育成と活性化の観点から、目標とする年代構成を掲げている。人事委員会では、現状の各年代の構成員数や女性教員数を、将来推移予想とともに全部局と共有し、**新規採用者のうち40歳未満の若手を80%** とすることを目安としている。

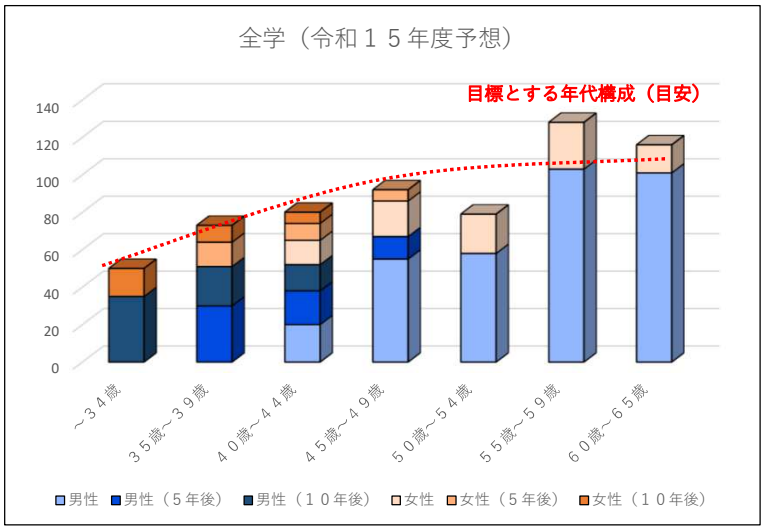
また、女性教員の比率については、国立大学協会が推進している「国立大学における男女共同参画推進について　―アクションプラン（2021年度～2025年度）―」を踏まえ、**新規採用者に占める女性教員の割合を30%以上** となることを目標としている。








全学（令和１０年度予想）
目標とする年代構成（目安）
140
120
100
80
60
40
20
0
～３４歳
３５歳～３９歳
４０歳～４４歳
４５歳～４９歳
５０歳～５４歳
５５歳～５９歳
６０歳～６５歳
男性
男性（５年後）
女性
女性（５年後）


全学（令和１５年度予想）
目標とする年代構成（目安）
140
120
100
80
60
40
20
0
～３４歳
３５歳～３９歳
４０歳～４４歳
４５歳～４９歳
５０歳～５４歳
５５歳～５９歳
６０歳～６５歳
男性
男性（５年後）
男性（１０年後）
女性
女性（５年後）
女性（１０年後）